

# 「魅力ある授業づくり」への一歩

## 2008年度春学期・秋学期授業評価の回答率

2008年度の「授業評価」の結果はWebで在学生・教職員向けに公開していますが、皆さんは見られましたか？また、どう思われましたか？先生方からのメッセージも多く公開していますので、ぜひご覧ください。ここでは『魅力ある授業づくり』の一環として実施した「授業評価」の分析について皆さんに報告し、有効に活用したいと考えています。

まず、学生による授業評価の回答率は、マークシートで配付、回収していた「昨年度と比べて低くなりました。Webによる授業評価が回答率の低下を招く結果となったと考えられますが、学生の皆さんの参加なくして『魅力ある授業づくり』はありえません。学生の皆さんの参加をお願いします。

下のグラフは、学科別に春学期と秋学期の回答率を比較したものです。グラフ中の45度線(グラフの中の緑色の線)よりも上に分布する学科は、秋学期の回答率が伸びたことを示しています。学生による

授業評価は回答率が増した学科もありますが、減少した学科もほぼ同数あり、多くの皆さんにその声を届けてほしいと考えます。一方、教員による授業自己評価の回答率は増加した学科が多いのですが、その分布も50%を境に2つに分かれ、本学の『魅力ある授業づくり』の趣旨からも、特に低い4学科をはじめ、教員もより授業を振り返る必要があるといえましょう。『魅力ある授業づくり』には、学

生と教員互いの授業への意識(思い)を知ることが第一です。そのためにも、学生の皆さんの授業評価へのより多くの参加を期待し、教員もさらに努力を続けます。

今回は、自由記述についての分析を報告します。自由記述は、Web上での書き込みやすさからか、以前の10倍程度、皆さんの「生」の声を聞くことができ、授業改善への参考に役立てたいと考えます。

(大学教育研究センター)

学科別の春学期・秋学期授業評価回答率

